

# 高校生アンケート調査結果

第2回 陸前高田市地域公共交通会議 会議資料

陸前高田市

## 1. 高校生アンケート調査の概要

- ・ 高校生の詳細な移動実態や移動に対するニーズ等を把握するため、高校生アンケート調査を実施した。

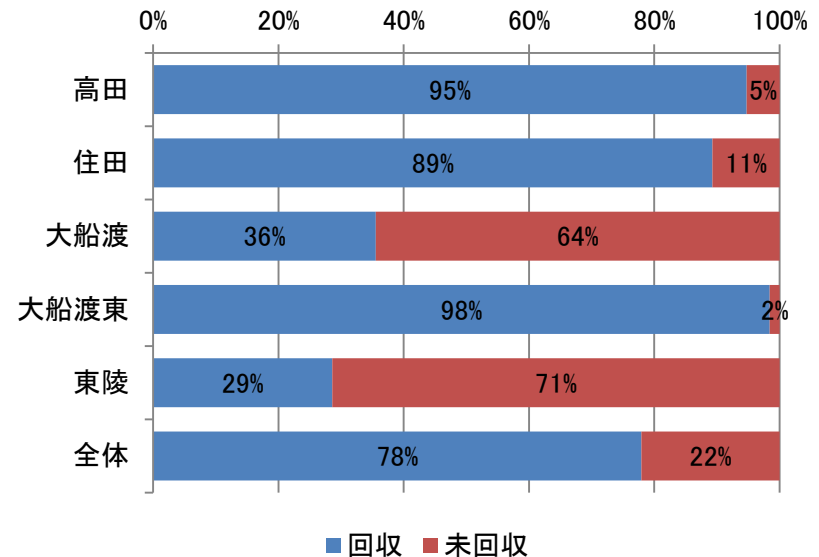
## ■調査概要

高校生アンケート調査	
対象	・ 市内に居住する高校生499名 (高田266名、住田28名、大船渡135名、大船渡東63名、東陵7名)
実施時期	・ 平成30年8月20日(月)～9月14日(金)
配布・回収方法	・ 教員経由配布・教員回収:高田高校、住田高校、大船渡東高校 ・ 教員経由配布・郵送回収:大船渡東高校、東陵高校
回収実績	・ 回収数389票(回収率78%)
質問事項	・ 通学実態(晴れの日・雨の日の通学手段、定期券の有無、送迎の有無、所要時間等) ・ 普段の移動の実態(目的地、訪問頻度、施設滞在時間帯、所要時間、交通手段等) ・ 公共交通の認知状況、利用状況 ・ 公共交通に対する満足度、不満理由、利用しない理由 ・ 公共交通のサービスレベル(最寄り駅・バス停までの限界所要時間、市内中心地までの限界運賃) ・ 回答者の属性(性別、学年、居住地区、住居形態等) 等

## ■配布数

学校	配布数	回収数
高田	266	252
住田	28	25
大船渡	135	48
大船渡東	63	62
東陵	7	2
合計	499	389

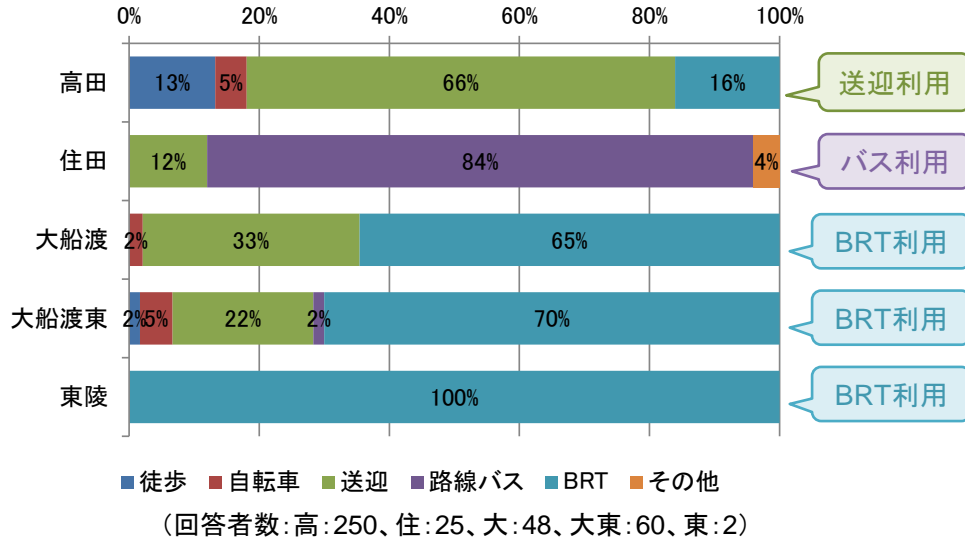
## ■回収率【全体・高校別】(N=499)



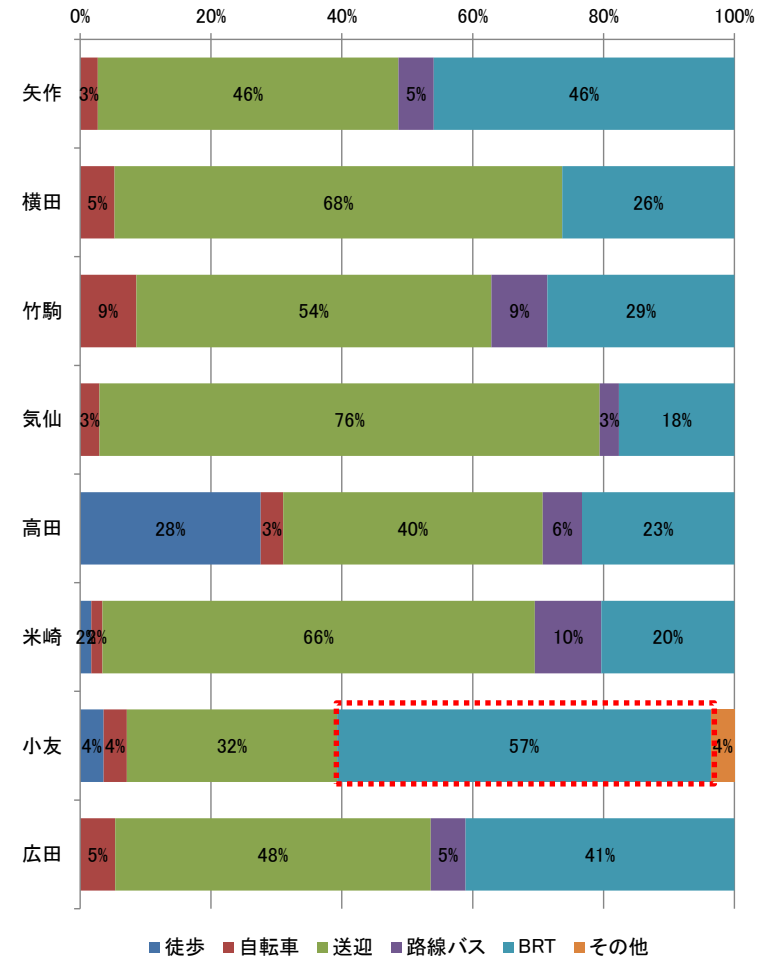
## 2-1. 通学時の移動実態

- 高田高校は公共交通を利用している生徒の割合が低く、**送迎による移動の割合が高い**。市外の高校については、**住田高校はバスの利用**、**大船渡高校・大船渡東高校・東陵高校はBRTの利用が多い**傾向にある。
- 高田高校は公共交通の利用が少ないため、定期券利用割合も少ない。その他の高校は**定期券利用割合が高い**。
- 地区別に見ると、**BRT利用者が最も多い小友町**以外は、**送迎が最も多い**。特に気仙地区は、**8割弱**の生徒が送迎による通学をしている。

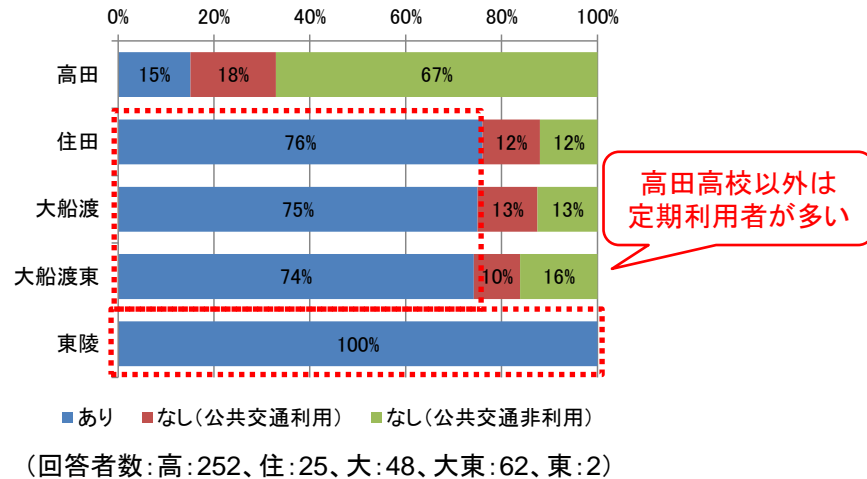
■通学時の利用交通手段(学校別)



■通学時の利用交通手段(居住地区別)



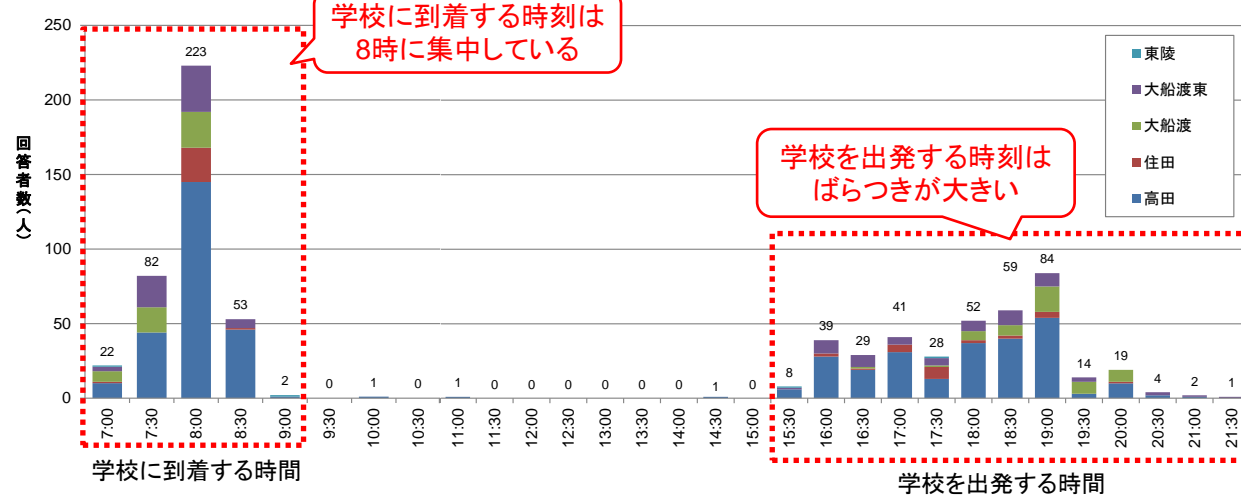
■通学定期の有無



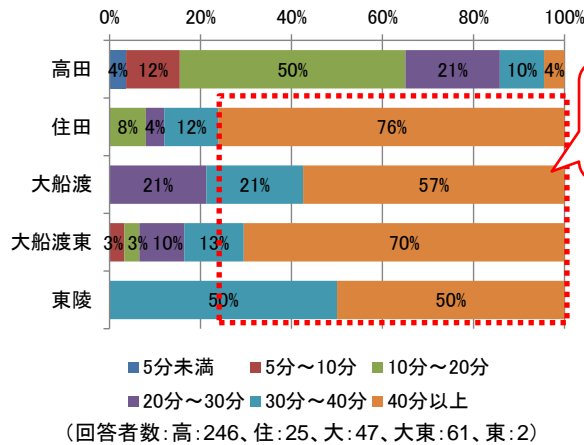
## 2-2. 通学時の移動実態

- 学校に到着する時間は**8時に集中**しているが、学校を出る時間は**ばらつきが大きい**。
- 通学にかかる所要時間は、高田高校以外は**40分以上の割合が高く、平均通学所要時間も長い**。
- また、通学所要時間が**30分以内の生徒は送迎割合が高く、30分以上の生徒はBRT利用者が多い**傾向にある。

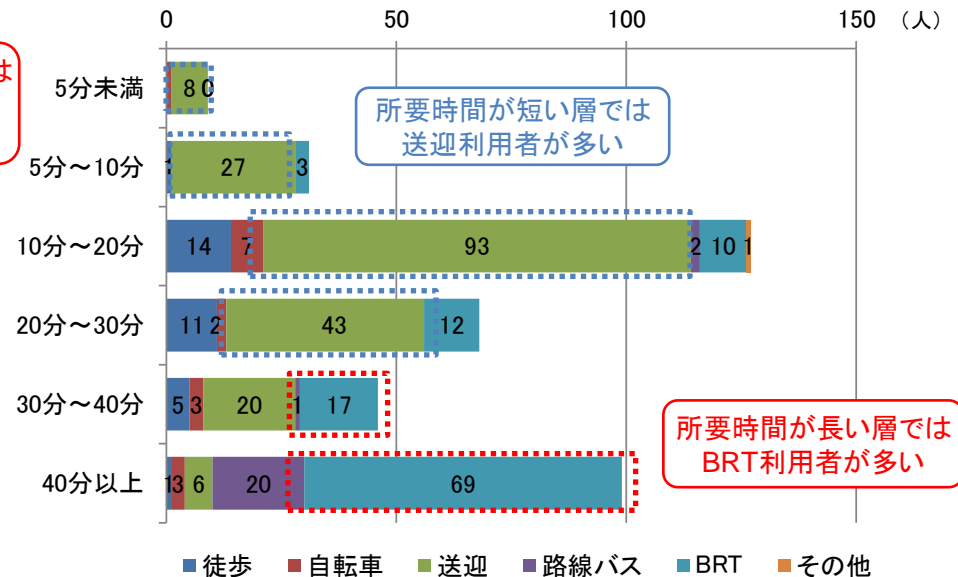
### ■通学移動時間帯



### ■学校別通学所要時間割合



### ■交通機関別通学所要時間



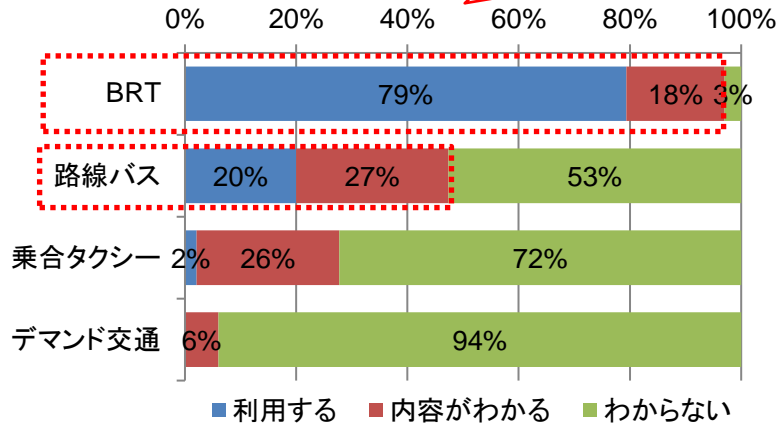
### ■学校別平均通学所要時間

学校	高田	住田	大船渡	大船渡東	東陵
平均所要時間	16.6分	51.2分	49.6分	55.1分	37.5分

### 3. 市内公共交通の認知状況及び利用実態

- 通学でも利用されているBRTやバスは認知度が高い。一方で、乗合タクシーやデマンド交通の認知度は低い状況となっている。
- 公共交通に関する情報は、主に家族や友人から得ている。また、入手していないという回答も多い。
- 公共交通の利用経験に関しては、9割以上の生徒が過去半年間の公共交通の利用経験がある。

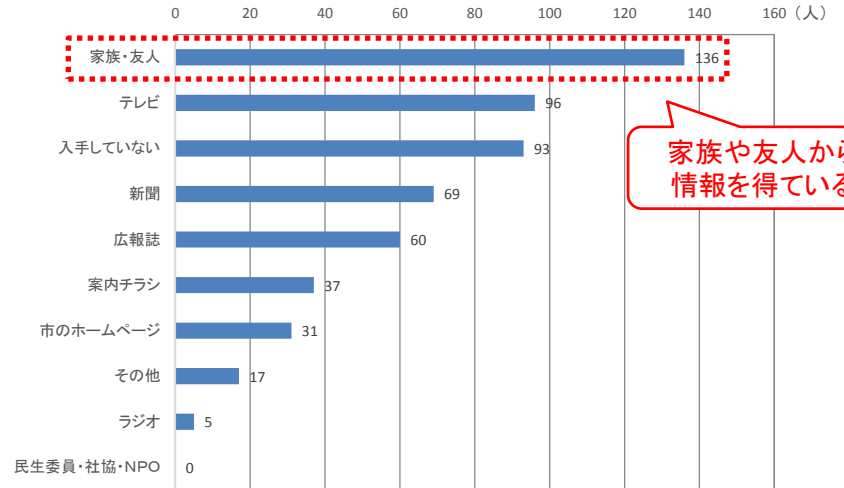
■交通手段別認知状況



(回答者数：BRT：373，バス：340，乗合タクシー：335，デマンド：333)

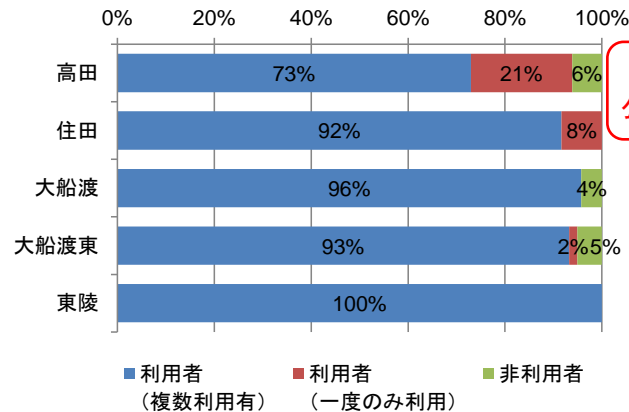
自分達が利用する交通機関についてはよく理解している

■公共交通に関して普段利用する情報媒体



家族や友人から情報を得ている

■学校別過去半年間の公共交通の利用経験



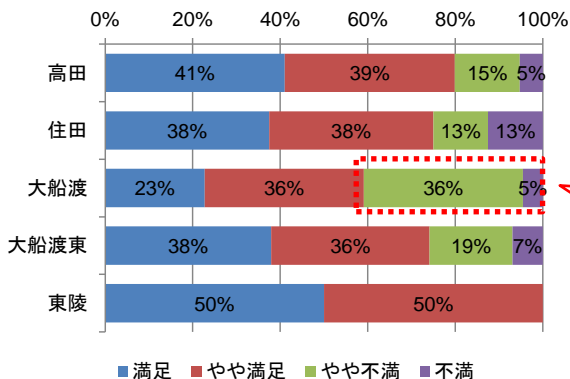
9割以上の生徒が公共交通利用をしている

(回答者数：高：244、住：24、大：47、大東：59、東：2)

## 4. 公共交通の利用実態及び満足度

- 多くの生徒が**現在の公共交通に対して満足**している。しかし、**大船渡高校は、約4割の生徒が不満**と感じており、その多くがBRTに対して不満を持っている。
- 不満を感じる公共交通はBRTが最も多く、「**乗りたいとき乗れない**」という、**移動欲求とダイヤ・ルートの不整合に起因**しているものが最も多い。
- 地区別にみると、**横田町・竹駒町で「乗りたいときに乗れない」利用者が多い**。また、**小友町で「目的地の近くに停留所が無い」という意見が多い**。

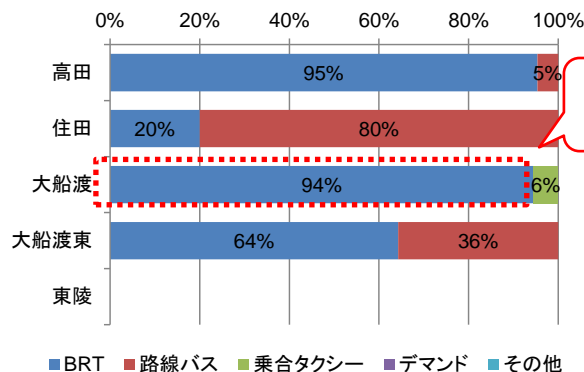
### ■学校別公共交通に対する満足度



(回答者数: 高:229、住:24、大:44、大東:58、東:2)

不満割合が高い

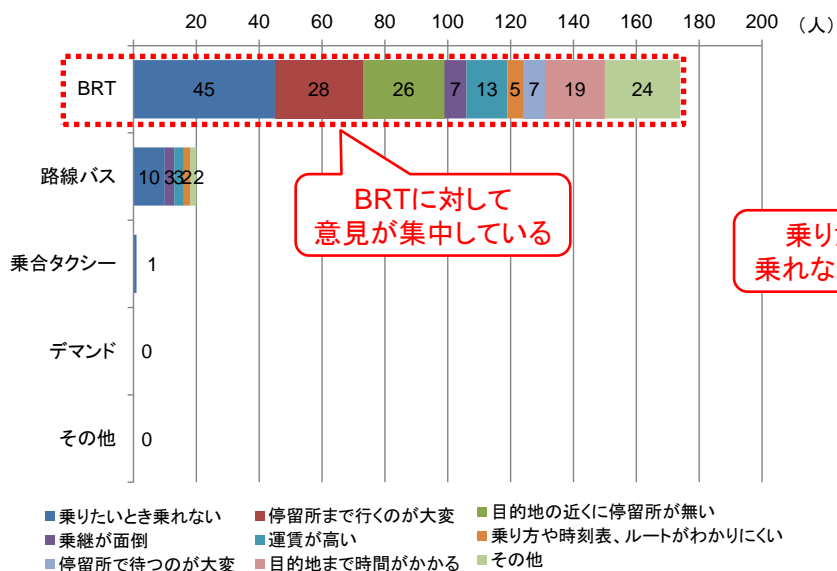
### ■学校別不満を感じる公共交通



(回答者数: 高:43、住:5、大:18、大東:14、東:0)

BRTに対しての意見が多い

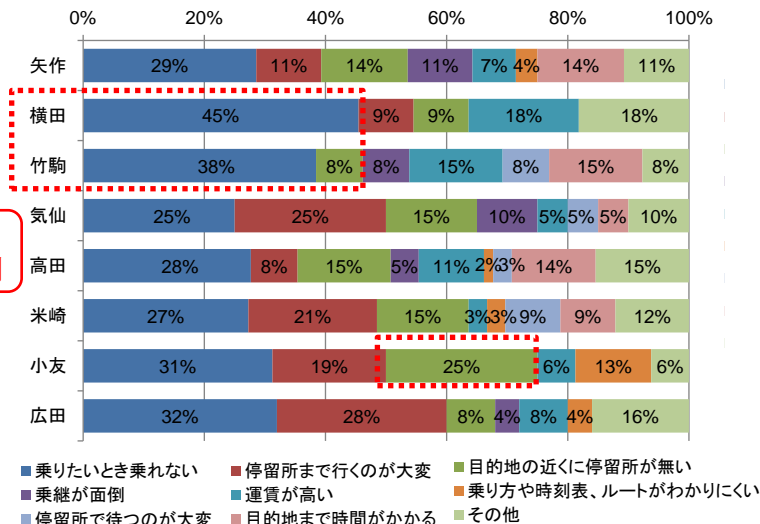
### ■居住地区別市内公共交通の不满理由



BRTに対して意見が集中している

乗りたいときに乗れない人が約4割

### ■居住地別市内公共交通の不满理由

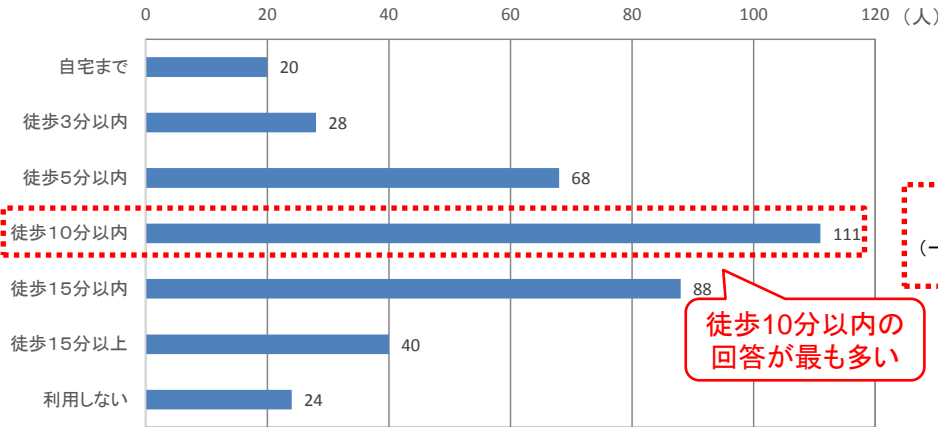


(回答者数: 矢:28、横:11、竹:13、気:20、高:65、米:33、小:16、広:25)

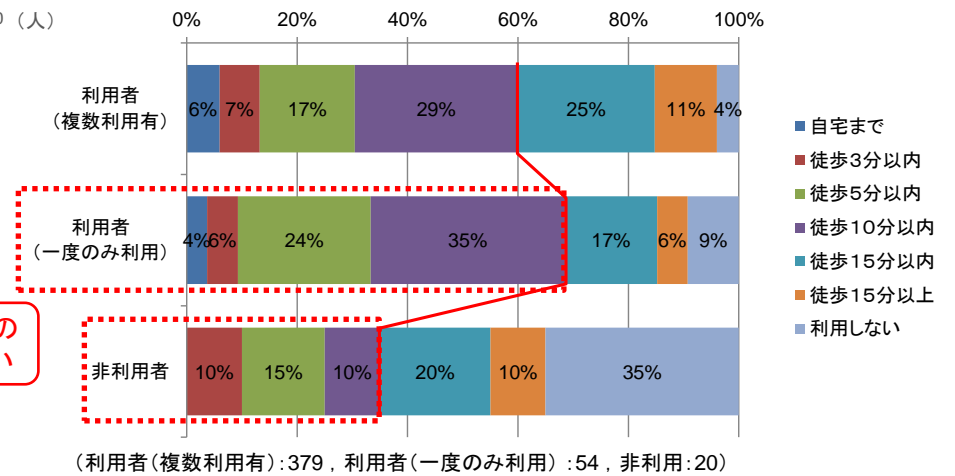
## 5. 望ましい公共交通のサービスレベル

- 自宅から最寄り停留所までの望ましい所要時間は、**徒歩5分以内または徒歩10分以内**を希望する声が多い。また、利用者 비해、**非利用者は所要時間に対する抵抗が大きい**傾向にある。
- 市内1乗車あたりの望ましい運賃は、**200円以下または300円以下**を希望する声が多い。また、利用者と非利用者の運賃に対する抵抗はそれほど変わらない。

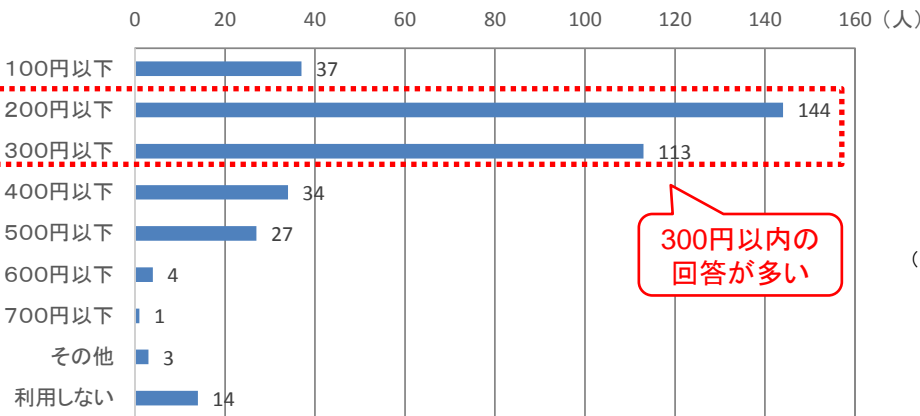
### ■自宅から最寄り停留所までの望ましい所要時間



### ■利用頻度別自宅から最寄り停留所までの望ましい所要時間



### ■市内1乗車あたりの望ましい運賃



### ■利用頻度別市内1乗車あたりの望ましい運賃

